

誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに！

玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

vol. 9 (創刊第九号) 2019. 7

発行&発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会
代表 徳力 幹彦

～協働してくださる団体や個人を募集しています！～

お知り合いの理事やニュース記載の担当にお気軽にご連絡下さい。

◆2019年度（令和元年）総会が開催されました。

本年度の定期総会が5月27日（月）午前10時から市庁舎おうえんルームで開催されました。事業計画案ならびに収支予算案の審議と新役員の選出が行われました。前野事務局長の開会の辞、徳力代表の挨拶、ご来賓の市民協働推進担当部長平林様のご挨拶に続いて、議長に船生みどりさんを選出し、議事が進められました。

2019年度は子供たちの健全育成、高齢者の福祉支援、街の緑環境の保全、地域住民参加交流などをテーマに9つの事業計画が承認されました。

総会終了後の懇談会では、総会ご参加の20余名が集い、南大谷中学校の橋本校長先生から地域と学校の連携のお話しなど和気藹々、約30分の懇談でお開きとなりました。



◆今年もみんなで踊ろう！玉川盆踊り

8月17日（土）16～20時 @玉川学園ポケットパーク

詳細は未定ですが、今年も去年同様『玉川音頭』をみんなで踊りたいと思います。

おいしいフードやドリンク、楽しい演目もただいま企画中です。

今年も大勢のみなさまのお越しをお待ちしています。

詳細はFacebookや街頭ポスター、玉川つばめ通信夏号（7月中旬発行予定）にてお知らせします！



玉川つばめ通信 宇野津 暢子 nu821@zj9.so-net.ne.jp TEL:090-3473-3872

◆2019年度玉南まちカフェ開催について

今年で玉南まちカフェは4回目を迎えます。今回の会場は、玉川学園さくらんぼホール（全室）と屋外の3丁目子ども広場を使い、11月10（日）に行う予定です。現在、準備会を開き具体的なアイデアなどを相談しているところです。

出店・展示等のお問い合わせは、担当の清瀬までお願いします。

担当 清瀬 壮一 skiyose@gmail.com

「街かど・なんでも相談室」の開設

<地区協議会新規事業>

誰もが気軽に安心して相談できる場を作るために、毎月ご協力いただく諸団体との定期的な打ち合わせを行なっています。相談員は、協力団体から専門職員が2人体制でじっくりお話を聴きます。また、街の商店の定休日を利用し、相談の場として月に3回開設します。利用料は無料です。

9月8日(日)、9月16日(月)、9月24日(火)に開設予定です。

相談場所：ギャラリーウエアミー(1丁目、旧小野獣医医院)、ブティック・フォーライフ(2丁目)、フェリス美容院(2丁目、車椅子対応可)

協力団体：NPO法人ころころ児童館、NPO法人レマーニ、町田第3高齢者支援センター、玉川学園ゆい訪問看護センター、町田第2地区民生委員児童委員協議会、玉川さくら保育園、まちづくりの会

担当：井上 宮子 miyakoyamamomo@yahoo.co.jp

～遊び場を失った子どもたちの体力低下を取り戻そう！～

元気に遊べる広場づくり事業 <地区協議会継続事業>

「キャッチボール普及展開近況」 初めてのキャッチボールを一年生児童と、ボールの握り方は、どう投げるかなど、数メートル離れた児童に指導するのは大変なこと。昨年購入の練習ネットに「ニコちゃんマーク」を取り付け、柔らかくボールを投げて貰うことにした。初心者指導も容易化でき、高学年児童は、変化球での的当てなどで楽しんでくれています。

担当：大山憲一 my.bag.pls@docomo.ne.jp TEL 090-3006-3788



★実施場所と日時★

- ◎ころころ児童館 月初めの土曜日15時～
- ◎南大谷小 第3水曜日 14時半～
- ◎町5小 最終週の金曜日 15時半～

玉川学園地区まちづくりの会主催、地区協議会協賛

<地区協議会新規事業>

まちづくり顕彰(まちなみに貢献している家やまちなみに感謝状を贈る)プロジェクト

玉川学園地区まちづくりの会では、まちづくり顕彰や住みよいまちと暮らしのデザインガイド等を作成配布してまちの豊かな住環境を目指してきましたが、満足な効果や価値の共有は難しいのが実情です。そこで、より価値の共有をわかりやすく楽しくする企画として、昨年かまちなみに貢献している家やまちなみに感謝状を贈るプロジェクトを始めました。

今年は、地区協議会の協賛を得て、去る6月2日のまちづくりの会の総会・懇親会の席上で感謝状をお送りしました。また、写真のような、それらの家やエリアをデフォルメしたオブジェを地域で活動する作家さんに一点物で作成してもらい、感謝状と一緒にお渡ししました。地域でお披露目の機会を設けてくださるエリアもあり、うれしい限りです。機会を見て地域のイベントや地区協議会のまちカフェでもお知らせしたいと思います。



なお、昨年度は、まちなみに貢献した建て方をした個人のお宅に。今年、まちなみに貢献した開発エリアに。来年度は、玉川学園の特徴的な道沿いで、道と道を活かした建て方をしたお宅を探し出して感謝状を贈る予定です。これはという箇所がありましたら是非お知らせください。

担当：木村真理子 (atelier@kimuramariko.com)

～玉南子ども食堂～ おむすび食堂 <地区協議会継続事業>

昨年7月より玉川学園・南大谷地区協議会事業として「おむすび食堂」を始めました。おむすび食堂は地域の多世代がつながりを持ち、ふれあいや助け合いが自然と生まれる「みんなの居場所作り」を目指しております。子ども目線で本当に楽しい、大人もホッとできる場作りを大切にしております。地域で子どもたちの成長を見守っていき、また、ご近所が顔見知りになることで、子どもだけでなく子育て世代やご高齢の方もゆるやかに地域とつながり、誰もが安心して暮らせるように活動しております。参加費は子ども100円、大人300円で、おむすび食堂に行けばみんなで一緒にあたたかいごはんが食べられます。月1回なかよし公園と桜ヶ丘自治会館で開催しております。今年度は昭和薬科大学での開催も予定しております。担当：秋田史津香 090-1799-1899 akita7048@gmail.com

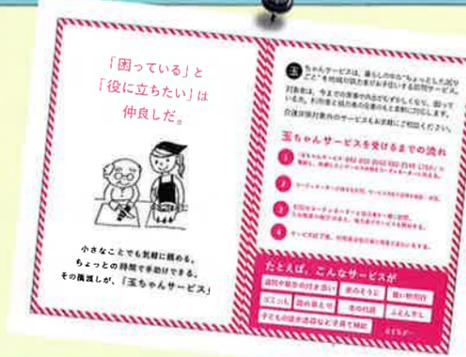


玉ちゃんサービス(日常生活支援訪問)への補助

<地区協議会継続事業>

2018年度活動報告と今後の展開について、DVDを映写しながら「お互いさま」の利用者・協力者の実態が解り、関心が高まりました。その折「しおり」を保存用に手渡ししながら約500人に対面。「玉ちゃんだより」では支え合いのエピソードなどを記載し、関心のある方に3000部配布。活動時間は1000時間の目標が実現可能になっています。今年度は南大谷地区でも有志の方々が活動を開始、秋にはトライ出来そうです。

担当：斎藤 三夫 saitomachida@outlook.jp
井上 宮子 miyakoyamamomo@yahoo.co.jp



二世帯、三世帯に渡る人、明日引っ越してくる人も
住民みんなで作る南大谷・玉川学園のまちづくり・・・
このまちは、人が宝です

～空き家・空き室の活用、みちコモンの発見活用プロジェクト～

玉川学園地区まちづくりの会では、地域の魅力を少しでも寂れさせないよう、そして地域資源を活かすために、空き家・空き室の活用、みちコモンの発見&活用ができないかと模索してきました。2019年度のハウジング&コミュニティ財団の助成を受けてプロジェクトとして動き出しています。

今年度は、地域で顔のつながった空き家を見つけマップ化すること、みちコモン（道沿いの敷地の一部を街路が膨らんだようにグランドカバーで緑化して椅子などを置けるところ）を発見してマップ化することをノルマとしています。できるだけ早い段階で個別の利用相談を受けたり、各の案件に必要な専門家につなげられるようにして、少しでも玉川学園らしさが損なわれないよう、少しでも売り逃げのような事業者の開発などに渡らないようにできればと思います。

また、平行して、地域で少しでも顔のつながった関係や価値の共有ができる関係の方とつながりたいと思っていまして、丁寧に意図を書き込んだチラシを作成し、主旨に賛同してくださる方や活動団体、町内会等に配布しています。ご興味

関心のある方は是非ご連絡ください。

関連して、昨秋から、ご近所で地域で顔の見える関係を目指して「お庭カフェ」を始めました。こちらもご興味関心のある方は是非ご連絡ください。

担当：木村真理子

(atelier@kimuramariko.com)

木村彰男

(kimura21@jcom.home.ne.jp)

清瀬壮一 (skiyose@gmail.com)

秋田史津香 (akita7048@gmail.com)



山手学園
地域資源
活性化
プロジェクト

「空き家・空き室活用」でまちに
活気を。楽しく暮らしやすいまちに。

主権：玉川学園地区まちづくりの会・地域資源活性化Project

山手学園
地域資源
活性化
プロジェクト

緑の「みちコモン」をつくって、
おしゃべりの機会をまちのあちこちで。

主権：玉川学園地区まちづくりの会・地域資源活性化Project

<お問い合わせ先>

玉川学園・南大谷地区協議会事務局
(玉川学園コミュニティセンター駅前連絡所内)
TEL 042-732-9372

代表 徳力 幹彦 miki@yamaguchi-u.ac.jp

事務局長 前野 紀夫 tomao@jcom.home.ne.jp

ホームページ・Facebookも更新しています。是非ご覧ください。

<https://tgmotikukyougikai.blogspot.com/>

広報誌実務&HP更新担当：翁 真由美

